

由良川河川愛護モニター報告

【報告内容】

- ①河川に関する要望
- ②河川利用上の不具合
- ③ゴミ投棄、川の水・施設等の異状
- ④油の流出、生物の大量死、不審物等
- ⑤河川愛護思想の普及・啓発活動
- ⑥その他

令和4年8月分

委嘱区間	報告	対応
由良川 舞鶴市域、宮津市域 (左右岸0.0～16.4 km)	<p>【8月14日(日) 11:00/宮津市由良川鉄橋(KTR)付近】</p> <p>②※水上バイクの走行について</p> <p>1. 明らかに通常とは違う音で猛スピードで走行している。ウィンドサーフィンもいる中大変危険である。</p> <p>土・日曜が多い</p>	<p>由良川では、「由良川水面利用ルール」を定めて、水上バイク等で遊走する際の騒音防止や他水面利用者への配慮等を求めています。当事務所でも、リーフレットの配布、看板の設置、ホームページへの掲載により啓発に取り組んでいるほか、利用状況を巡視等にて確認しています。通報いただいた内容を含め今後の状況を注視するとともに、必要に応じて関係機関と協力しながら同ルールの啓発に取り組んで参ります。</p>
由良川 旧大江町域 (左右岸16.4～29.2 km)	<p>【8月28日(日) 18:00/福知山市由良川両岸16km付近】</p> <p>⑥二箇取水場下の舞鶴市設置の防潮幕について</p> <p>塩分濃度により設置工事のため近年は毎年両岸の基礎工事を行っておられます。</p> <p>長期使用可能な施設建設を検討されてはどうでしょうか。</p>	<p>防潮幕は、塩水の遡上を防止して水道水の取水を確保する目的で架設を認めています。ただし、架設期間は、流水への影響を最小限に止めるため、通年ではなく潮位の上昇等により必要となった期間のみとしております。なお、由良川の水面から川底までを仕切る幕であるため、バックホウを用いて架設作業が行われます。</p>
由良川 旧福知山市域～音無瀬橋 (左右岸29.2～37 km)	<p>【8月1日(月)～19日(金)(期間中で雨が降った日は除く)9時～16時の間 由良川音無瀬橋～新音無瀬橋を一周】</p> <p>⑥音無瀬橋から新音無瀬橋を一周ぐるっと周るのが普段のランニングコースであり、前回の通報書で書かせてもらった、新音無瀬橋近くの草については綺麗に刈られており、非常に見通しもよくなり、また安全面からの点でも河川の状況が良くなったと見受けられる。</p> <p>草が大量に生え、長く伸び切ったものは140センチにもなっていたので、ただでさえ道端が狭い道を更に狭くするようになっていたため、自転車で行く方、ランニング、散歩、通行する方がずれ違う際に少し危なかったが、今はそれが解消されたように感じた。ランニングしながらも由良川がよく見渡せる。</p> <p>これから涼しくなる季節には由良川のウォーキングイベントを開催してもいいかもしれない。</p> <p>また、新音無瀬橋近くにはワラビが生えていたり確認もできた。</p> <p>由良川付近の植物など観察する集まりを行っても面白そうだ。</p>	<p>堤防の除草は、堤防点検を行う事を目的に年2回実施しております。堤防に植物等が繁茂している状況では堤防の僅かな変化(洗掘・漏水・亀裂・沈下等)が確認できません。また、河川利用にあたっての利便性の向上やゴミ等の捨てにくい環境の形成に繋がるものと考えております。</p> <p>音無瀬橋から新音無瀬橋間の堤防天端は、多くの方がジョギングやウォーキング等で利用されています。また、福知山市が河川法の許可を得て、由良川周回コース案内板や距離表示を設置しております。</p> <p>季節を感じる情報もいただき、ありがとうございます。なお、植物の観察会は今年5月に開催されたほか、ウォーキングイベントも例年秋に大江町にて開催されております。</p>
由良川 音無瀬橋～戸田橋 (左右岸37～42.0 km) 土師川 (左右岸0.0～2.3 km)	<p>【8月27日(土) 11:00/川北地先 由良川・川北橋付近】</p> <p>⑥8月になっても雨等で川は増水ぎみ7月同様濁りがあり川原に行く道などは草や竹等により近づく事ができず又、コロナ等の影響により川等を利用する遊びをされる方や子供達を見る事がありません。</p> <p>みどり豊かな、由良川という感じです。</p>	<p>8月は普段より水位が高く、水辺を利用される方も少なかったと思われます。今後も引き続きモニタリングしていただきますよう、よろしくお願いいいたします。</p>
由良川 戸田橋～久田橋 (左右岸42.0～47.6 km)	<p>【8月7日(日)8:30 綾部市新小貝橋下地先】</p> <p>⑥新小貝橋の下にカメラが5～6匹泳いでいました。</p> <p>橋の上からでも見えて水がきれいな事もわかり、長寿であるとされるカメラが生きる由良川をきれいなまま大切に守っていきたく感じています。</p> <p>8/6(土)10:00頃にはIR47.0km付近で鮎とりをしておられました。サオで水面をたたいて網で取るらしく、昔ながらのやり方なのでしょうか？</p> <p>何とも水の中の釣り人は涼しげで美しい由良川の中で絵の様な様でした。</p>	<p>8月6日にご覧になった鮎とりは、網を川に入れて鮎を追い込む刺し網漁かと思われます。亀や鮎などが生息できる豊かな自然環境の保全に努めて参ります。</p>

